

親しむ海”と“備える海”をテーマに 見学会を実施

平成30年8月17日（金）に“親しむ海”と“備える海”をテーマに遊覧船の体験乗船と神戸地方气象台等の見学会を実施しました。

この見学会には、応募総数75組の中から、抽選により小学生と保護者の20組（当日参加19組）が参加しました。

遊覧船の体験乗船では、港の施設や船の説明内容を懸命にメモにとり、カメラに収めるほほえましい子どもたちの姿がありました。

子どもたちからは、『今日、灯台に「神戸港」と書かれているのをはじめて知った』『外国から、たくさんの、いろんな種類の船が来ていてすごいと思った』『それぞれの役割を持った、色々な船があった。私は、ゴミ回収専用の船があることにおどろいた』など、素直な目線での感想が寄せられました。

神戸地方气象台では、観測施設の見学とともに、最近の集中豪雨による警報発令のながれを学び、阪神淡路大震災や津波の資料映像を見て、災害への備えについて親子で考えてみる契機になりました。

子どもたちは、『にげる所を確認しておいたほうがよい』、『まずにげる』、『津波の映像を見たら、思っていたよりも怖くて、びっくりした』など、映像をみて海の怖い一面にも気付いた様子でした。

遊覧船の体験乗船



【神戸港の施設や船の説明を聞く参加者】



【メモをとる参加者】



神戸地方气象台の見学



【雨量計の内部を見学する参加者】



【刻々と変化する雲の動きの説明をうける参加者】



【担当官の問題に答えようと手をあげる参加者】

【参加者からの感想】（抜粋） ※ 原文のまま

Q：遊覧船に乗って気がついたこと

- ・灯台が多かった。今日、灯台に「神戸港」と書かれているのをはじめて知った
- ・潜水艦を見ることができた。潜水艦の中で海水から酸素を作ることができること
- ・沢山の舟が神戸港に来ていること、倉庫が沢山あること
- ・船にはたくさんしゅるいがあるんだなということに気がついた（漁をする船、荷物を運ぶ船など）ホテルの上にとう台があるなんて知りませんでした
- ・神戸の港の回りにいろいろなたてもものがあるということ
- ・神戸にも、いろいろな船があり、すごい！
船には、1つ1つの役目があり、“さすが！”と思いました。きれい
- ・日本でせん水かんが、つくられていること。戦争のものも、作られていること。海のごみをそうじできる船があること
- ・荷物をはこぶものがあったりしておもしろかった
- ・外国から、たくさんの、いろんな種類の船が来ていてすごいと思いました
- ・それぞれの役割を持った、色々な船があった。私は、ゴミ回収専用の船があることにおどろきました

Q：見学や体験をとおしての感想

- ・よほうをかいている人がすごいと思ったし、船にまどがたくさんついていた
- ・津波の映像を見たら、思っていたよりも怖くて、びっくりした
- ・ゆうらんせんにもものれたし、地しんの体験もできたのでよかった。また来年も来たいと思いました
- ・船や、気象庁の仕事を学べて良かったと思います。今日学んだことをしっかりと覚えていかしていきたいです。ありがとうございました
- ・いろいろなことが体験できてよかった。また、事がスムーズに出来たので、長い間、地しんなどを考える時間にひたれました
- ・ふつうでは行けないところにいって、知らないことや、災害のことを学ぶことができて良かったです
- ・ふだんできない体験や、見学ができて、勉強になりました。つなみや、じしんのこわさをしって、ひなんじゅんびをしないとだめだなと思いました
- ・森田さんが分かりやすく解説してくださったおかげで、学校で来たときよりも、とてもよく分かりました。灯台に文字をかいてはいけないのに、「神戸港」と許可をもらったうえで、だけどかいていて、びっくりしました。1日でいろんなことが体験できて良かったです